

【概要・目的】

- ・利用者ニーズや新型コロナウイルスの状況等を鑑み、時代に合ったサービスへの転換を図る
- ・具体的には、購入から利用、払戻しまでスマートフォンのみで完結するスマホ定期導入やQRコード決済を導入することで利便性向上を図るとともに、キャッシュレス決済化（非接触化）を促進することで新しい生活様式へ対応する

【取組内容】

①スマホ定期の導入＜R3年度中 予算：7,000千円＞

アプリまたはWEBにて運用するスマホ定期を導入する
⇒ **窓口での手続き不要**、券面を乗務員へ提示することで降車



◀①スマホ定期イメージ図

②QRコード決済の導入＜R3.10月予定 予算：4,800千円＞

QRコードによる運賃支払いを導入する
⇒ **現金利用者（利用者全体の約30%）のキャッシュレス決済化促進**



◀▼②QRコード決済は総務省統一QR「JPQR」導入を想定

【参考：令和2年度実施の利便性向上施策】

- ・モバイル市電1日乗車券の導入（R2年12月）
- ・乗車券販売窓口キャッシュレス決済導入（R3年3月）

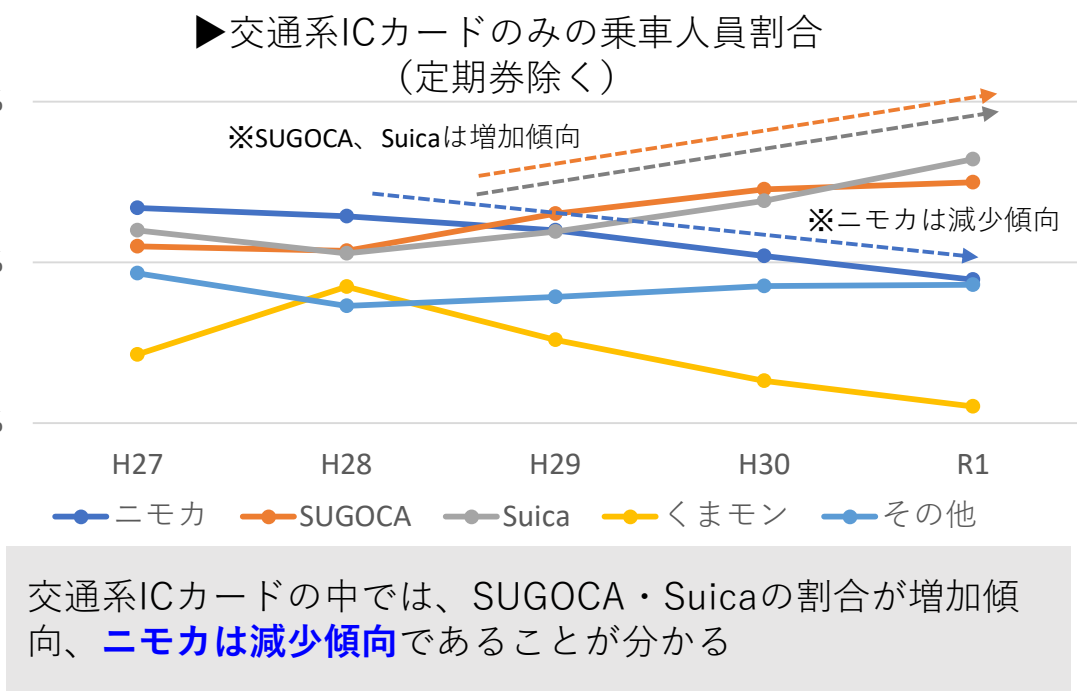
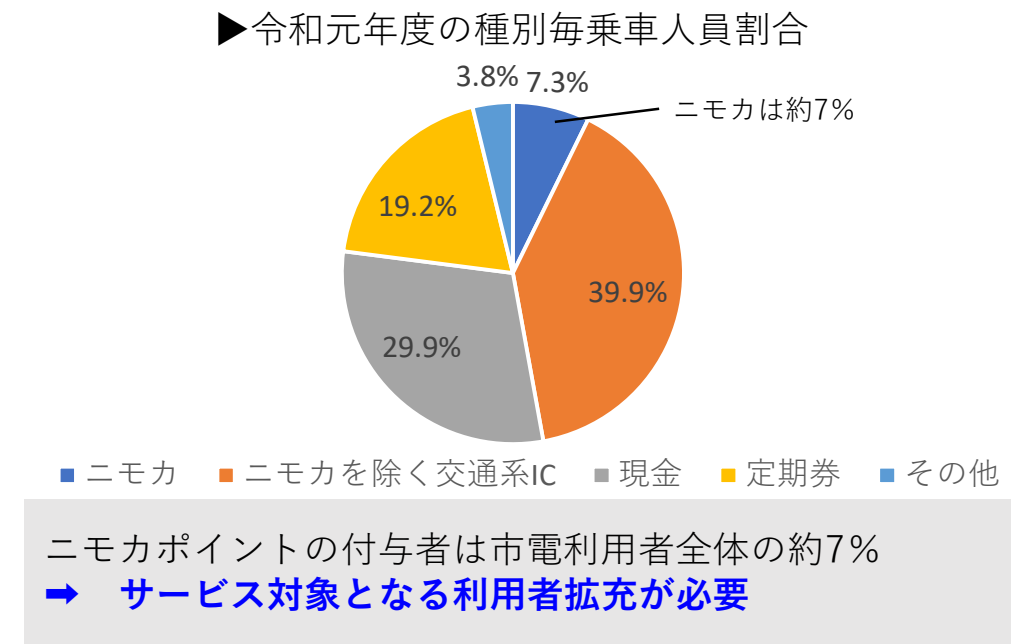


※なお、市電利用によるニモカポイント付与を廃止する＜R3.10月予定＞
⇒ ポイント付与者は市電利用者全体の約7%（※次ページに参考データあり）
⇒ 上記①や②など新たなサービスへ転換することで、サービス対象となる利用者拡充を図る

※また、交通局1F乗車券類販売窓口の営業時間を変更する＜R3.4月予定＞
・営業時間を8：45～17：30から9：00～17：00へ変更する（※委託先である桜町バス案内所は8：30～18：30）
⇒ 委託先の利用者が増加し、交通局窓口は年々減少（※次ページに参考データあり）
⇒ 変更する時間帯である8：45～9：00の窓口利用客は1日平均1名以下、17：00～17：30は2名以下であり影響は小さい

乗車券類販売の利便性向上及びサービスの見直しについて(交通局)

<参考①> ニモカポイント付与廃止関連



<参考②> 交通局1F乗車券類販売窓口の営業時間変更関連

▶ 各窓口のICカード年間取扱件数・割合は下記のとおり

名称	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
交通局窓口	9,117件	27.6%	7,706件	22.2%	6,252件	18.2%	5,983件	17.3%
桜町バス案内所	15,184件	46.1%	16,487件	47.6%	17,612件	51.2%	18,825件	54.5%
熊日 プレイガイド	8,672件	26.3%	10,441件	30.2%	10,534件	30.6%	9,752件	28.2%
合計	32,973件	100.0%	34,634件	100.0%	34,398件	100.0%	34,560件	100.0%

今後、委託先での業務拡大やスマホ定期の導入等を行うため、交通局窓口利用者は更に減少していく見込み